

志木二中だより



令和2年度 10月号
志木市立志木第二中学校

令和2年10月1日(木)
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379

秋 本 番

校長 本 庄 真

9月の4連休明けからぐっと気温が下がり、過ごしやすい気候になりました。これから秋本番を迎えます。秋本番とはなにを言うのでしょうか。私にとっては、果物をはじめ美味しい食べものが出まわる季節というイメージがあります。調べてみると、残暑が終わりよく言われる「〇〇の秋」に突入する、いわゆる「何事にも思い切ってトライできる時期」になったということのようです。



学校では、9月に5人の学生が時期を変えながら教育実習を行いました。朝の校門でのあいさつの様子などを見ていると、生徒と積極的にコミュニケーションを図り、一生懸命な様子が伝わってきました。見ていて自分が教育実習を行った30年以上前のことが蘇り、教師を目指していた「初心」を思い起こしそれを大切にしなければ、とあらためて感じました。授業をしてもらった生徒や学級に入って一緒に過ごした生徒にとっても良い経験になったと思います。「実習を体験してさらに教師になりたいという気持ちが強くなりました。」という言葉もありました。社会に出ると「人の縁」が大切になります。今回の実習が、それぞれの学生の将来に少しでもプラスになればと願うばかりです。

今は、1・2年生が新人戦(10月3日～6日)に向けて最後の仕上げというところになりました。どの運動部も連日熱が入った練習を行っています。今回の大会は、コロナ禍の影響で出場する者だけが参加する、保護者等の応援はなし、大会前の検温、健康観察の義務など例年と違った形式での実施となります。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

3年生は、いよいよ受験生としての「勉強モード」になってきたとの声が聞こえてきました。私のところにも、3年生の面接練習の依頼が来ています。人生で初めての進路選択に立ち向かうこととなります。悔いの無いよう自らの精一杯をぶつけてもらいたいと思っています。休校明けの6、7月、3年生は大会もなくなり目標が持ちづらい中で、部活動に戻り後輩の指導等がんばる姿を見せてくれました。言いたいことも色々あったらと思うのですが、黙々とよくやっていました。その背中を1・2年生がしっかり見ていたはずです。後輩のがんばりを共に期待しましょう。

今月中旬には中間テストもあります。どのような状況でも『やるときはやる、全力でやる』のが志木二中生です。私は今まで3年間、そんな君たちをずっと見てきました。一人ひとりが「秋本番」を迎え、やるべきことに全力でトライしてみてください。応援しています。